

国勢調査速報値からみた諏訪地方 6 市町村の将来推計人口の検証

2010 年国勢調査速報値のデータによる

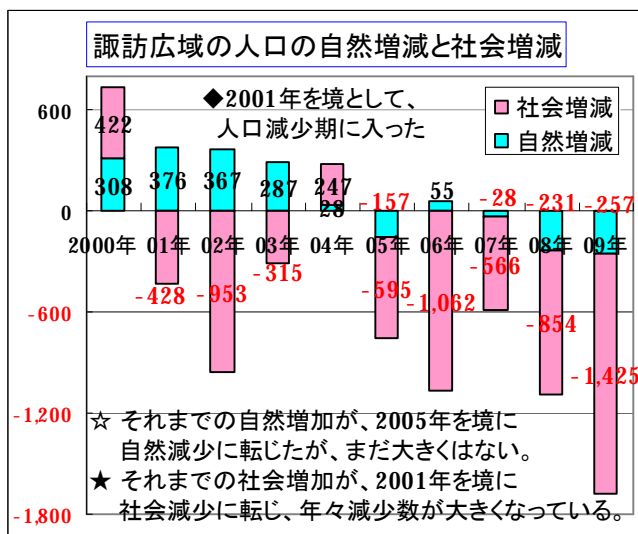
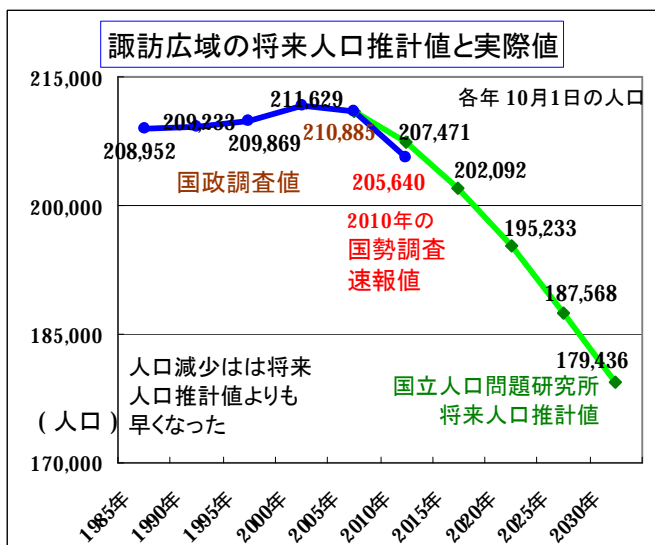
2011. 9. 2 補正(2. 28) 矢島義恭

注) 出生数と死亡数の差が自然増減、転入数と転出数の差が社会増減

1 諏訪広域全体の将来推計人口と最近の動態

2005 年より人口の急速な減少期に入った。1993 年～2005 年までの人口は 21 万人台でピーク時にみられる微増微減の横ばい状態が続いていたが、これが終わり推計値以上の減少を示すようになった。減少の要因は自然増加が自然減少に転じたことと、それ以上に社会減少が大きくなったことにある。

この 5 年間は、諏訪市と茅野市で推計値より実際値にかなり大きな減少幅がみられたが、その他の市町村は概ね推計値に沿った人口の増減であった。自然増加しているのは茅野市だけで、その他の市町村は自然減少に転じた。また、社会増加しているのは原村だけで、その他は社会減少となった。



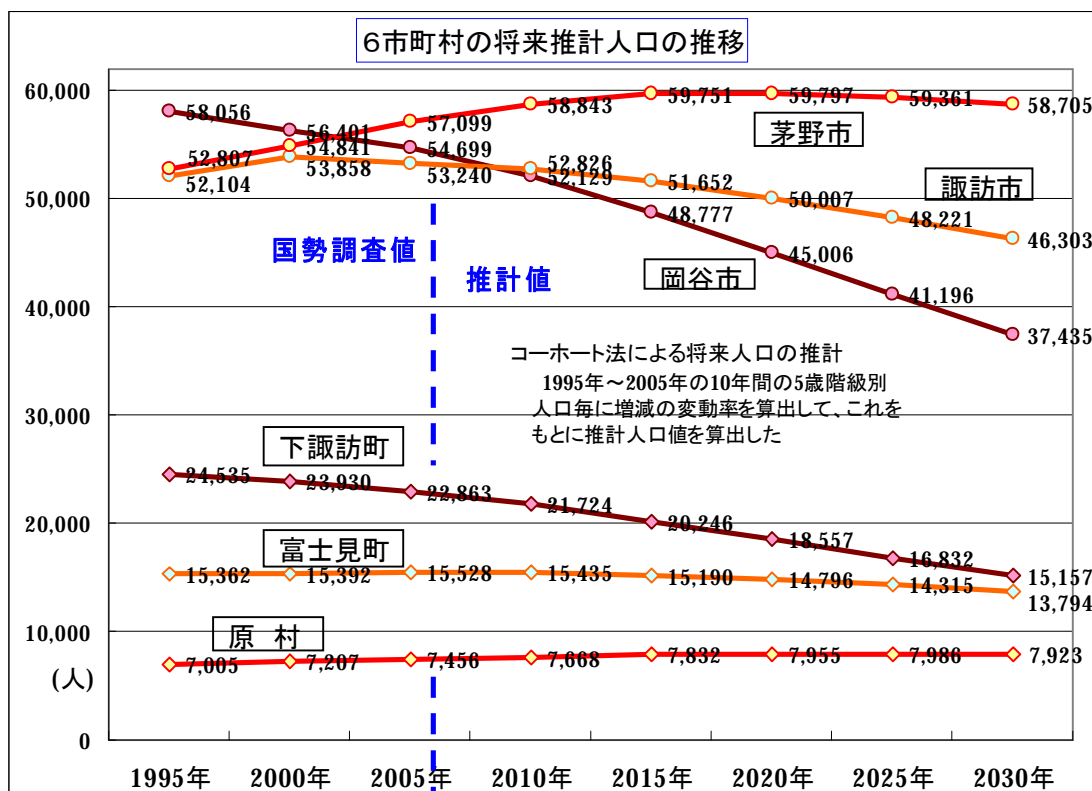
2 2005 年国勢調査を基点とした 6 市町村の将来推計人口の推移 (コーホート法による推計)

[2005～2010 年の人口推計値の傾向]

増加傾向・・・茅野市、原村

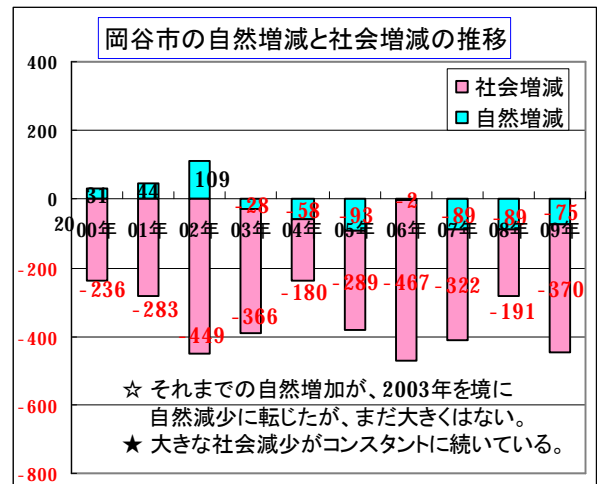
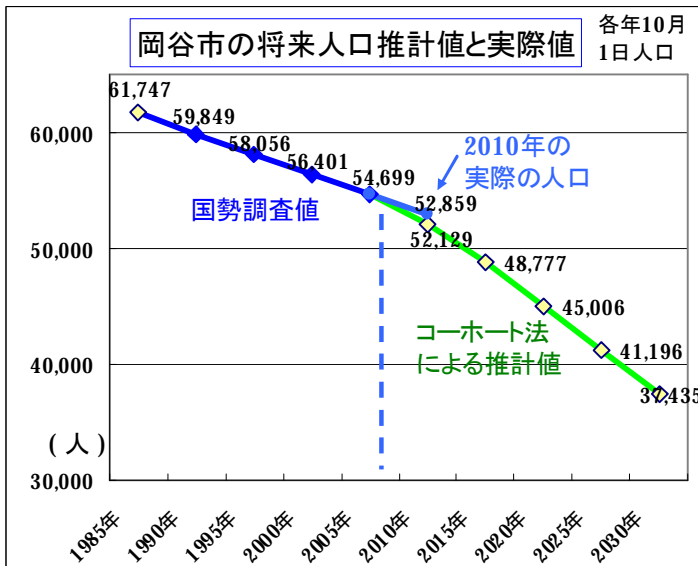
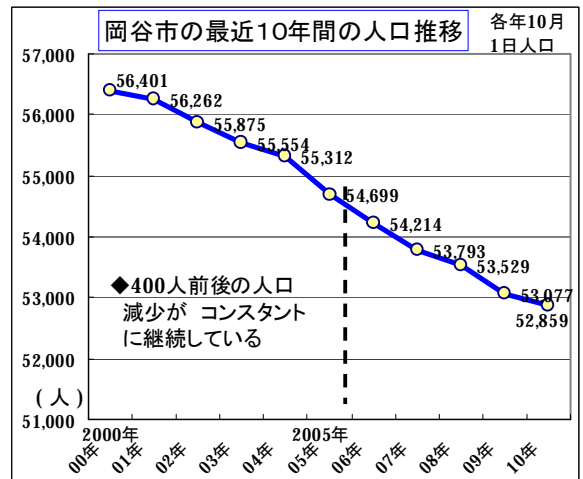
ほぼ横ばい・・・諏訪市、富士見町

減少傾向・・・岡谷市、下諏訪町



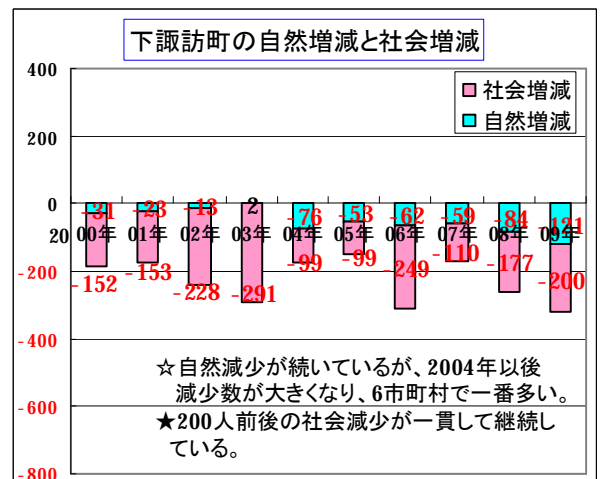
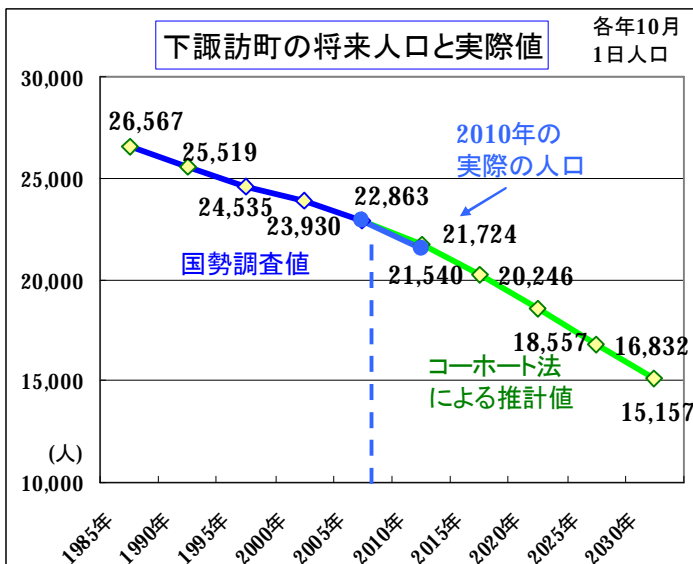
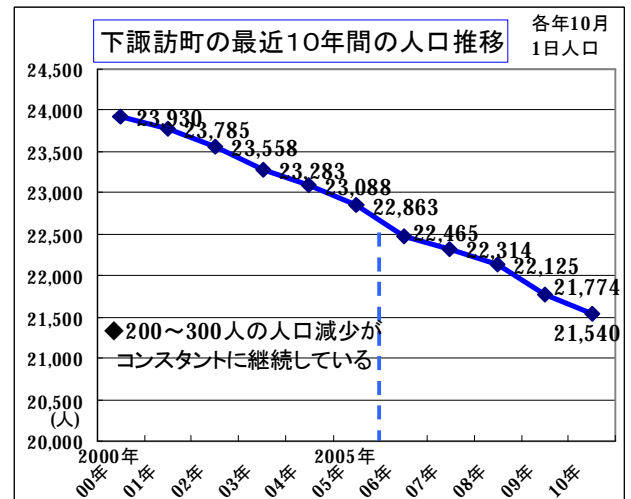
3 岡谷市の将来推計人口と最近の動態

- 将来人口推計値は急速な人口減少傾向を予測していたが、最近も一貫して毎年400人前後の減少が継続しています。1980年の62,210人がピークであった。
- 2010年までの5年間の減少傾向は、推計値よりもゆるやかになった。
- 人口の自然増加は2003年を境に自然減少に転じ、社会減少は従来同様に一貫して続いています。



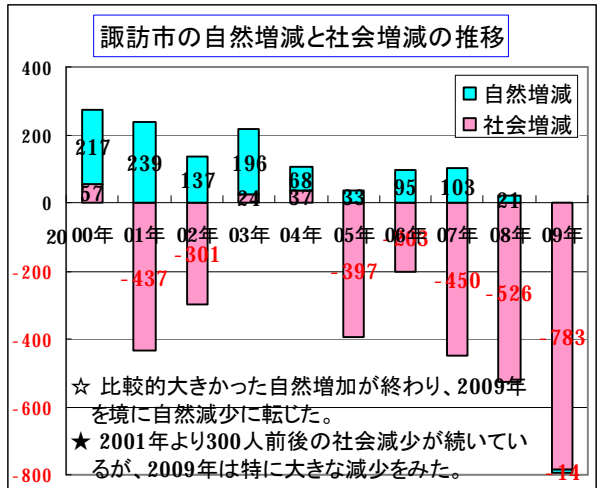
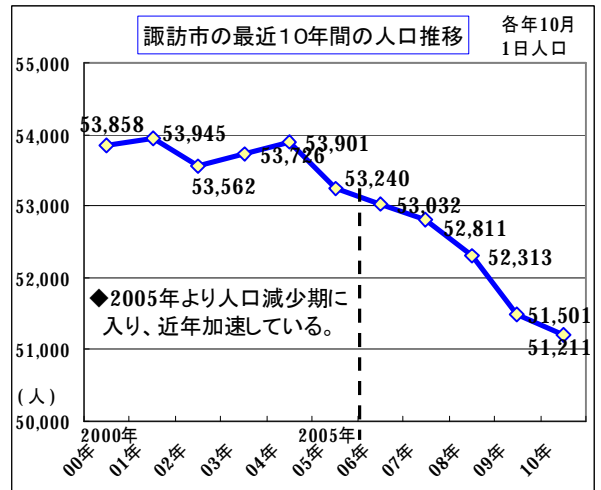
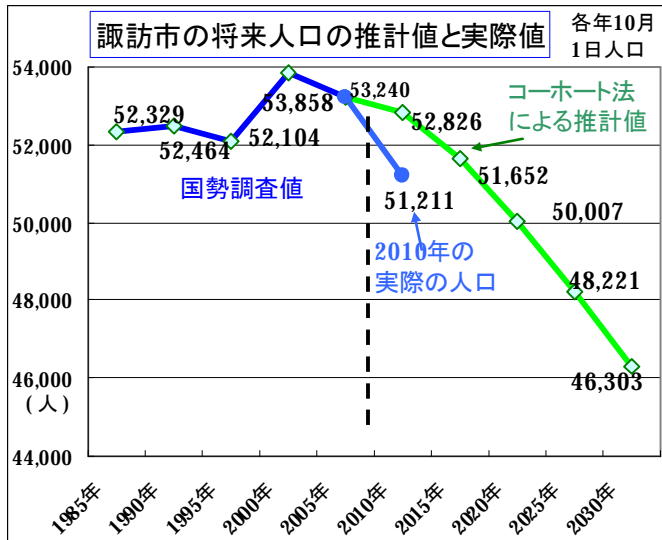
4 下諏訪町の将来推計人口と最近の動態

- 将来人口推計値は急速な人口減少傾向を予測していましたが、最近も一貫して毎年200~300人前後の減少が継続しています。
- 2010年までの5年間の減少傾向は、ほぼ推計値通りでした。
- 人口の自然減少が近年大きくなってきました。200人前後の社会減少も一貫して続いています。



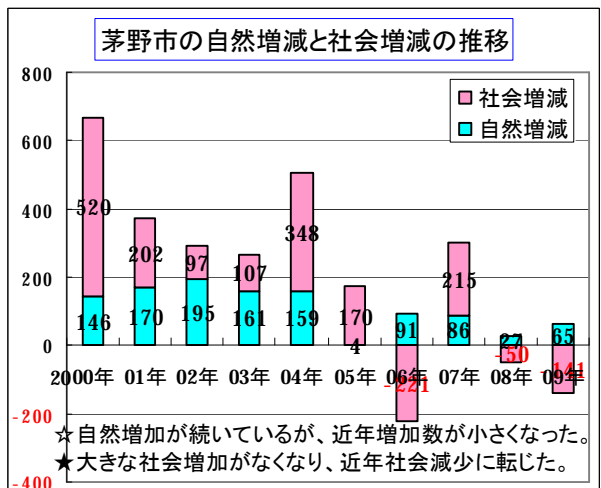
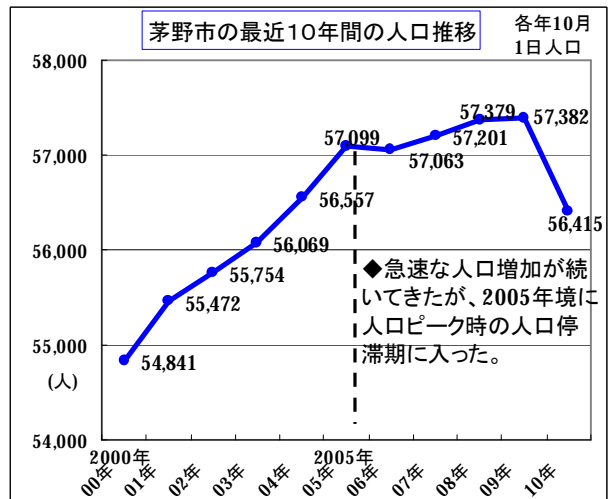
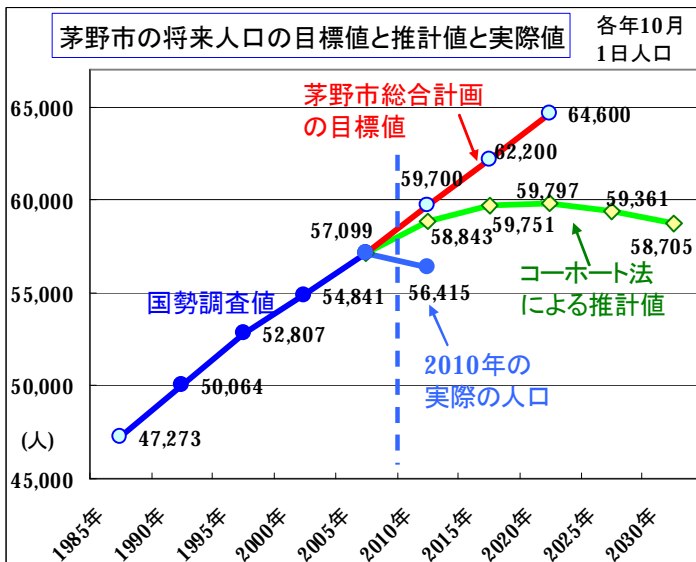
5 諏訪市の将来推計人口と最近の動態

- 推計値はピーク時漸減の横ばいを予測していますが、この5年間で **2,000** 人余という岡谷市なみの大きな減少がありました。ピーク時の横ばいが終わり **2005** 年より人口の減少傾向に入った。このまま続けば、将来人口の減少速度がかなり早まり推計値は大きく減少します。
- かなり大きかった自然増加が終わり、**2009** 年には自然減少に転じた。それまでの社会増加も **2001** 年には社会減少に転じ、最近人数が大きくなっているのが特徴。



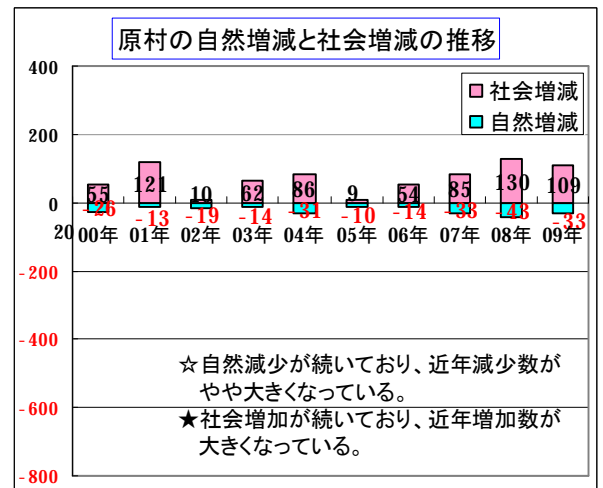
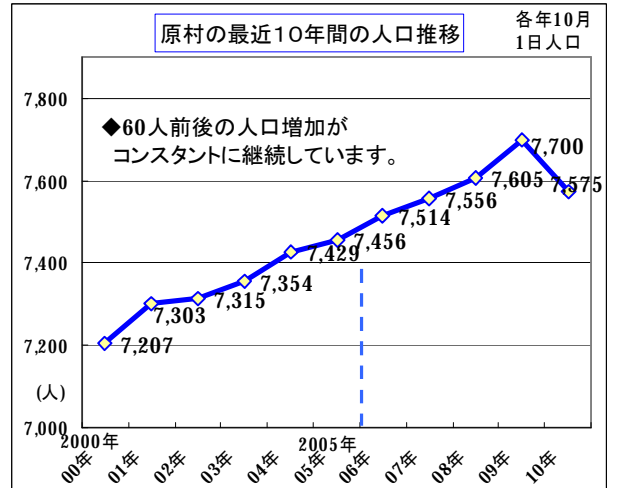
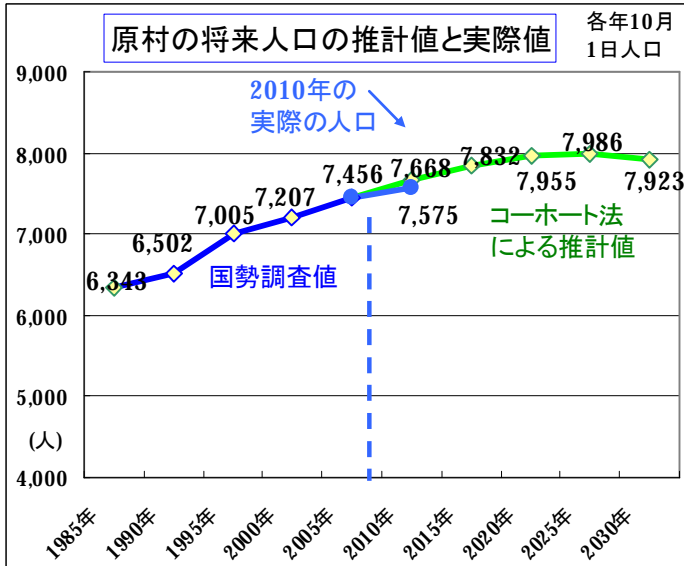
6 茅野市の将来推計人口と最近の動態

- これまで急速な人口増加を続け、推計値でもしばらくは増加すると予測されたが、**2009** 年を境に減少に転じた。この5年間で **700** 人弱とかなり減少した。
- 減少に転じた原因は、かなり大きかった自然増加が少なくなったこと、大きかった社会増加も少なくなり、近年はむしろ社会減少に転じたことにあります。
- 人口のピーク時にみられる横ばい期に入ったとも考えられますが、その場合は推計値が大きく減少します。



7 原村の将来推計人口と最近の動態

- 将来人口推計値は人口増加傾向を予測していますが、毎年60人前後増加してきたが2010年に大きく減少した。ピーク時の横ばいとみるかどうかは判断に迷う。
- 2009年までの4年間の増加傾向は、推計値より若干強かったが、5年間では推計値を下回った。
- 人口の自然減少が続いていますが大きな変化はありません。人口増加の原因は社会増加が続いていることで、近年はやや強くなっていたがこれも減少に。



8 富士見町の将来推計人口と最近の動態

- 将来人口推計値は2010年以後に減少傾向に入るとしていますが、2006年を境に減少傾向に入った。
- 2010年までの5年間の減少傾向は、推計値より強くなった。このまま続けば推計値の修正が必要になります。
- 人口の自然減少が続いてきましたが、近年若干多くなりました。人口減少の原因は社会増加が少なくなり、更に近年社会減少に転じたことにあります。

